

1. 介護保険制度の充実を求む

一般質問にて(令和6年9月24日:要約)

②

今後ますます要介護高齢者増加

主任ケアマネの人材確保及び育成について



しいな

令和5年12月末で居宅介護支援事業所が134か所あり、区内には主任ケアマネが約190名(令和6年7月1日時点)います。人材確保の観点でどのような取組みをしていくのでしょうか？

区長

- 介護人材の不足は介護業界全体の問題
- 他自治体の支援策も参考にしていく

働く人が定着しないことが一因でもあり、介護人材の確保及び育成・定着支援のため令和6年度より「介護職員実務者研修課程の受講料に対する助成」を新たに開始。区内の介護サービスの充実と提供が担保されるようにしていく。



介護保険法 第27条では「原則申請から30日以内に結果を通知する」

要介護認定結果の遅延が及ぼす影響について



しいな

- 申請から結果通知までの日数別集計

新規・区分変更…38.0日

更新…37.7日

30日以内に結果が出ていない

- 認定調査員の不足、認定期間延長の措置や申請件数増加などへの対策は？
- 遅延により認定調査実施前にご逝去した場合、介護サービス費用は自己負担になってしまうのか？



区長

認定期間延長
終了後の対策

- ・臨時の認定審査会の開催
- ・審査会における審査件数の上乗せ
- ・認定調査の委託先の拡大

- 将来的な介護認定調査件数の増加にも対応できるように認定調査のDX化や委託条件の見直しなどについて検討
- 認定調査に至らず死亡した場合の介護サービス利用の費用負担
新規…全額自己負担
区分変更…最終介護度の利用限度額を超過した分
※急を要する事例では、短期に認定通知を行う特段の運用を実施

福祉20年の実績 介護のケアマネジャーが区政へつなぐ

しいなひろみ

区政報告のチラシを受け取ってくださいありがとうございます

親子3代地元です。

発行総Vol.23

「無所属」板橋区議会議員 しいなひろみ 区政報告

楽しいな通信



お陰様で1期目は12項目の政策を実現できました！ 2期目のお約束は12項目です。うち3項目実現しました！



本会議
(録画)

おうち

“最期まで で暮らせる板橋区”

2. 高齢になっても障害があっても暮らしやすい板橋区へ

東日本大震災後、全国で2例が導入。災害時の安否確認業務における負荷が大幅に軽減される

災害時の高齢者へ自動安否確認システムの導入について

しいな

- 7月31日集中豪雨、8月下旬台風10号などで「ひとりぐらし高齢者見守り対象者名簿」「避難行動要支援者名簿」などの活用実態は？被害に遭われた方々への対応は？
- 災害時の高齢者へ「自動安否確認システムの導入」を提案

区があらかじめ設定した条件を満たす災害が起きると、スマホや固定電話に自動音声の電話が入り、口頭で「けがをしている」「逃げ遅れた」などの安否情報を答えると、その音声でAIが判読し文書化して一覧表にまとめ、区に報告する仕組みです。自治体による同様のシステム運用は、東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市に続いて、品川区では来年3月から事前登録した単身高齢者に自動音声の電話をかけて安否を確認するシステムの運用を始める方針。

危険な道路から板橋区民を守りたい

東武練馬イオン前交差点の音響式信号機と徳丸石川通りの信号機の設置について

しいな

- 東武練馬イオン前交差点の音響式信号機設置については、地域の町会長さんからもご要望を区へ伝えておりますが、徳丸石川通りの信号機設置と合わせその後の進捗状況はいかがでしょうか？

区長

- 「避難行動要支援者名簿」等の活用

7月31日の大雨の際は、住民の命に危険が生じ避難指示を発令する状況ではなく活用していない。水害に遭われた方へは職員が個別に訪問し、消毒液の配布や罹災証明書等の申請案内を行い、区のホームページにも掲載した。

- 自動安否確認システムの導入について

既に導入しているシステムの活用策や効果などは、今後研究していく。

区長

- 徳丸石川通りの信号設置について
現状では、信号機設置の基準を満たしていないため難しい。

- 東武練馬駅イオン前交差点の音響式信号機設置について
警察署からは要望者との現地立会いを実施し、利用経路などを確認した上で設置の可否を検討すると聞いている。